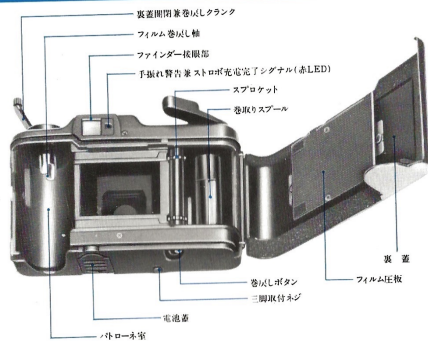
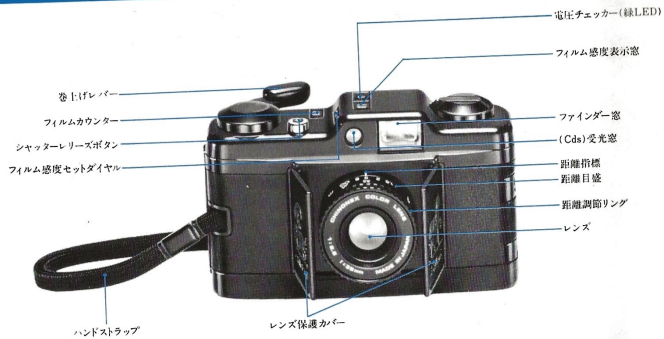
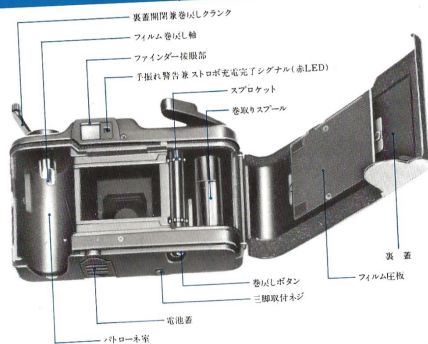


## 各部の名称

2



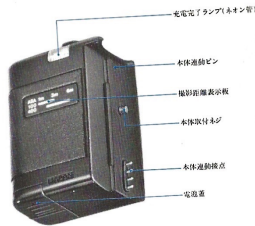
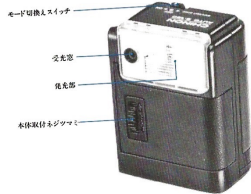


各部の名称



●各部の名称

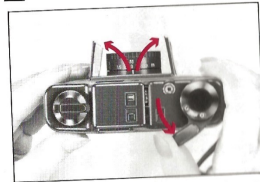
(別売 S-120 オートストロボ)



4

撮影前の準備

1 レンズの繰り出しと収納



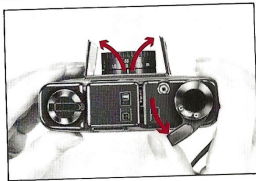
1) このカメラは、レンズが沈胴式になっています。巻上げレバーをストップするまで操作すると、レンズ保護カバーが開いてレンズが繰り出されます。



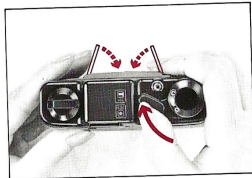
2) 巻上げ  
込む

## 撮影前の準備

### 1 レンズの繰り出しと収納



1) このカメラは、レンズが沈胴式になっています。巻上げレバーをストップするまで操作すると、レンズ保護カバーが開いてレンズが繰り出されます。



2) 巻上げレバーをストップするまで押し込むとレンズは収納されます。

- レンズが収納されると、リリースボタンがロックされ、電源スイッチもOFFになります。
- レンズの繰り出しが完全でない場合も、リリースボタンはロックされます。

充電完了ランプ(赤い点滅)

本体接続ピン

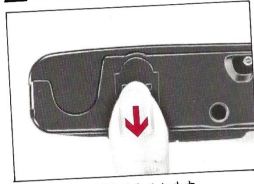
撮影距離表示板

本体取付ネジ

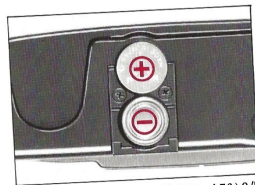
本体接続端子

電源蓋

## 2 電池を入れてください。



撮影前に、まず電池を入れます。  
1) 電池蓋をスライドさせてははずします。



2) アルカリマンガン電池(LR44、A76)2個を電池室の表示に合わせて正しく入れ、蓋を閉めてください。  
酸化銀電池(SR44、G-13、S-76)も使用できます。



### ●電圧チェック

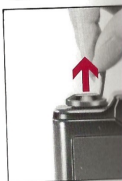
1) レンズを繰り出し、フィルムを巻上げた状態でリリースボタンを軽く押します。上カバー上面の緑ランプが点灯すれば電圧はOKです。

2) 点灯しないときは、次のいずれかの場合です。

- 電池が消耗している。
- 電池を入れまちがえている。
- カメラが故障している。

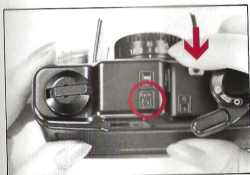
●電池は必ず2個まとめて交換してください。また、同じ種類の電池を必ず2個使用してください。  
●緑ランプが点灯しない場合は、リリースボタンがおりてもシャッターが開かず露光されません。電池の確認を行ない故障の場合は、最寄りのサービスステーションへお持ちください。

## 3 フィルム



1) 裏蓋を開いたらフィルムを巻きます。

### 3 フィルムを入れてください。



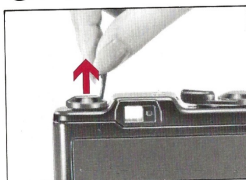
#### ●電圧チェック

1) レンズを繰り出し、フィルムを巻上げた状態でレリーズボタンを軽く押します。上カメラ上面の緑ランプが点灯すれば電圧はOKです。

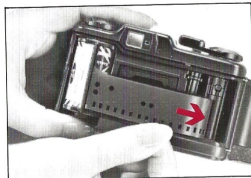
2) 点灯しないときは、次のいずれかの場合です。

- 電池が消耗している。
- 電池を入れまちがえている。
- カメラが故障している。

- 電池は必ず2個まとめて交換してください。また、同じ種類の電池を必ず2個使用してください。
- 緑ランプが点灯しない場合は、レリーズボタンがおりてもシャッターが開かず露光されません。電池の確認を行ない故障の場合は、最寄りのサービスステーションへお持ちください。

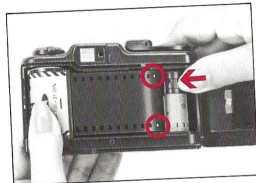


1) 裏蓋開閉クランクを引上げて裏蓋を開きます。

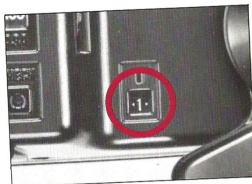


2) ノットローネの出っばっている軸を下にして入れ、巻戻しノブを元の位置にもどします。フィルムの先端を引き出して、巻取り軸の溝に充分差し込みます。

●撮影前の準備



3) 巻取りスプールの上側を矢印方向に回して、フィルムのパーフォレーションをスプロケットにかけます。



4) 裏蓋を閉じ、フィルムカウンターが(1)になるまでカラ写しをを行います。

## 4 フィルムの感度をセットします。

フィルム感度セットダイヤルをまわして、使用フィルムの感度に相当する目盛をフィルム感度表示窓にだします。  
フィルム感度は、ASAまたはDINの数値で表わされ、フィルムの外箱か説明書に書いてあります。



◀ASA感度目盛

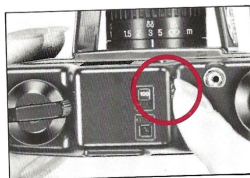
カメラのASA

フィルムのASA

フィルムのDIN

## 4 フィルムの感度をセットします。

フィルム感度セットダイヤルをまわして、使用フィルムの感度に相当する目盛をフィルム感度表示窓にだします。  
フィルム感度は、ASAまたはDINの数値で表わされ、フィルムの外箱か説明書に書いてあります。



〈ASA感度目盛〉

カメラのASA感度	25	50	100	200	400
フィルムのASA感度	20 25 32	40 50 64	80 100 125	160 200 250	320 400 500
フィルムのDIN感度	14 15 16	17 18 19	20 21 22	23 24 25	26 27 28



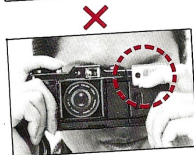
## 撮影の開始

### 1 カメラのかまえ方

カメラはハンドストラップに右手を通して両手でしっかり持ち、顔に軽く押しあてて体に両ひじをつけるようにかまえて、カメラぶれしないようにレリーズボタンを静かに押し切ってください。このとき、(Cds)受光窓に指がかからないように注意してください。ストロボ撮影の場合は、ストロボの発光部に指がかからないように注意してください。

①

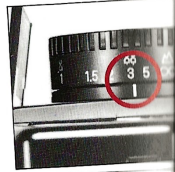
- 撮影するとき、レンズ保護カバーを内側におさえつけてください。



### 2 ピントを合わせましょう。



被写体までの距離を目測し、距離調節リングの下側に指をあて距離調節リングの表示を距離指標に合わせます。ピントの合う範囲は、1メートル～∞(無限遠)です。



● セーフティ・フォーカス  
晴天の屋外撮影の場合は、  
グを3メートル(35)のクリ  
トするだけで、手軽に撮影  
できます。

## 2 ピントを合わせましょう。



被写体までの距離を目測し、距離調節リングの下側に指をあて距離調節リングの表示を距離指標に合わせます。ピントの合う範囲は、1メートル～∞(無限遠)です。

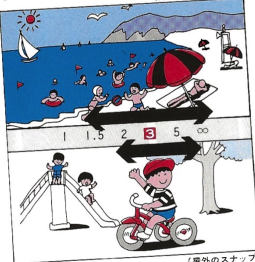


### ●セーフティフォーカス

晴天の屋外撮影の場合は、距離調節リングを3メートル (M) のクリック位置にセットするだけで、手軽に撮影を行なうことができます。

### 〈ピントの合う範囲〉

(海辺・山のスタンプ)

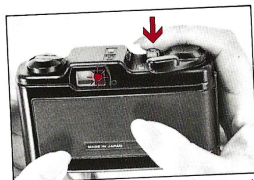


(屋外のスタンプ)

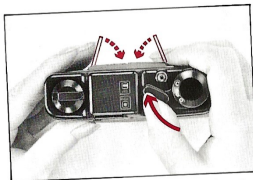
### 3 EE撮影



1) チノンBellamiは、オート露出機構により自動的に適正露出にセットされます。撮影を行なうときは、被写体をファインダーのフレーム内に入れて、リリースボタンを静かに押してください。



2) 被写体が暗すぎる場合は、接眼枠の赤ランプが点灯して手振れを警告します。(シャッタースピード $\frac{1}{60}$ 秒以下)この場合は、ストロボを使用することをおすすめします。



3) 撮影が終了したら、必ず巻上げレバーを押し込みレンズを収納してください。リリースボタンがロックされ、電源スイッチもOFFになります。

- レンズ鏡筒やレンズ保護カバーを押しての収納はしないでください。
- レンズ保護カバーはむりに開かないでください。
- 持ち運び時には、必ずレンズを沈黙し、レンズ保護カバーを閉めてください。

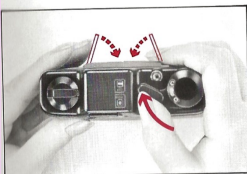
### 4 ストロボ撮影



専用ストロボ(チノオートS-12)としてストロボ撮影を行なうこと

- 1) 電池キャップを開け、電池を合わせてアルカリ単3乾電池(R6)1本を正しく入れます。

## 4 ストロボ撮影 (別売 S-120 オートストロボ)

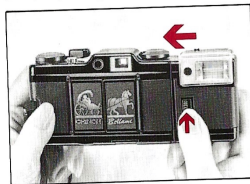


3) 撮影が終了したら、必ず巻上げレバーを押し込みレンズを収納してください。リリースボタンがロックされ、電源スイッチもOFFになります。

- レンズ鏡筒やレンズ保護カバーを押しでの収納はしないでください。
- レンズ保護カバーはむりに開かないでください。
- 持ち運び時には、必ずレンズを沈脚し、レンズ保護カバーを閉めてください。



専用ストロボ(チノンオート S-120)を使用してストロボ撮影を行なうことができます。  
1) 電池キャップを開け、電池室の表示に合わせてアルカリ単3乾電池(AM-3、LR6)1本を正しく入れます。

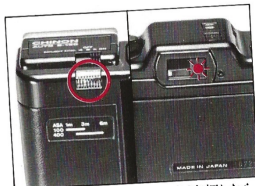


2) ストロボの本体取付ネジツマミを回してストロボを取付けます。

● 撮影の開始



3) モード切換えスイッチを「ON」にセットします。  
補助光として使用する場合は、「DAY-LIGHT SYNC.」(日中シンクロ)に合わせます。



4) ストロボの充電完了ランプが点灯したら、ストロボの発光準備はOKです。  
リリースボタンを軽く押すと、カメラ側の充電完了シグナルも点滅します。(D.S.の手振れ警告位置では点灯)



5) ストロボ発光部に指がかからないように注意して、リリースボタンを静かに押してください。



6) 撮影が終了したら、モード切換えスイッチを(OFF)にしてください。

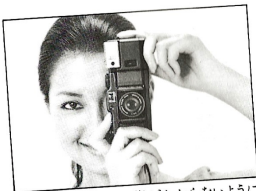
〈フィルム感度の自動切換え〉

本体側のフィルム感度セットにより、ストロボは自動的にASA100または、ASA400にセットされ完全同調します。

使用フィルムASA感度	80
ストロボオートセット	

〈オート有効範囲〉

ASA 100	1.0メートル~3.0メートル
ASA 400	1.7メートル~6.0メートル



5) ストロボ発光部に指がかからないように注意して、リリースボタンを静かに押してください。



6) 撮影が終了したら、モード切換えスイッチを(OFF)にしてください。

#### 〈フィルム感度の自動切換え〉

本体側のフィルム感度セットにより、ストロボは自動的にASA100または、ASA400にセットされ完全同調します。

使用フィルムASA感度	80 · 100 · 125	320 · 400 · 500
ストロボオートセット	100	400

10

#### 〈オート有効範囲〉

ASA 100	1.0メートル～3.0メートル
ASA 400	1.7メートル～6.0メートル

●撮影の開始

〈モード切換えスイッチ〉

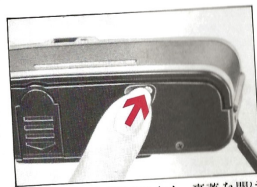
- 「ON」……一般ストロボ撮影  
手振れ警告ランプが点灯した場合、部屋など暗い場所で使用します。
- 「D.S.」……日中シンクロ撮影  
窓ぎわの逆光撮影および日中のバックの明るい撮影では、バックの明るさに露出が合っ、被写体が暗くなってしまいます。このようなとき補助光として使用します。

〈有効的に撮影できる範囲〉

ASA 100	1.0メートル～3.0メートル
ASA 400	1.0メートル～5.0メートル

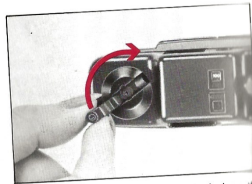


## フィルムの巻戻し



フィルムを全部撮り終えたら、裏蓋を開ける前に次の手順でフィルムを巻戻してください。

- 1) カメラ底部のフィルム巻戻しボタンをロックされるまで押し込みます。



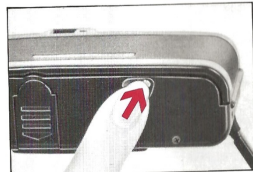
- 2) 巻戻しクランクを起して、矢印方向に巻戻します。フィルムがスプロケットからははれると急に軽くなるので確認できます。

## フィルムの巻戻し

ロボ撮影

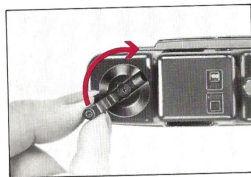


(日中シンクロ撮影)

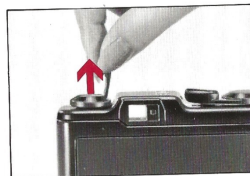


フィルムを全部撮り終えたら、裏蓋を開ける前に次の手順でフィルムを巻戻してください。

- 1) カメラ底部のフィルム巻戻しボタンをロックされるまで押し込みます。



- 2) 巻戻しクランクを起して、矢印方向に巻戻します。フィルムがスプロケットからはずれると急に軽くなるので確認できます。



- 3) 巻戻しクランクを引上げて裏蓋を開け、ノブローネを取り出します。